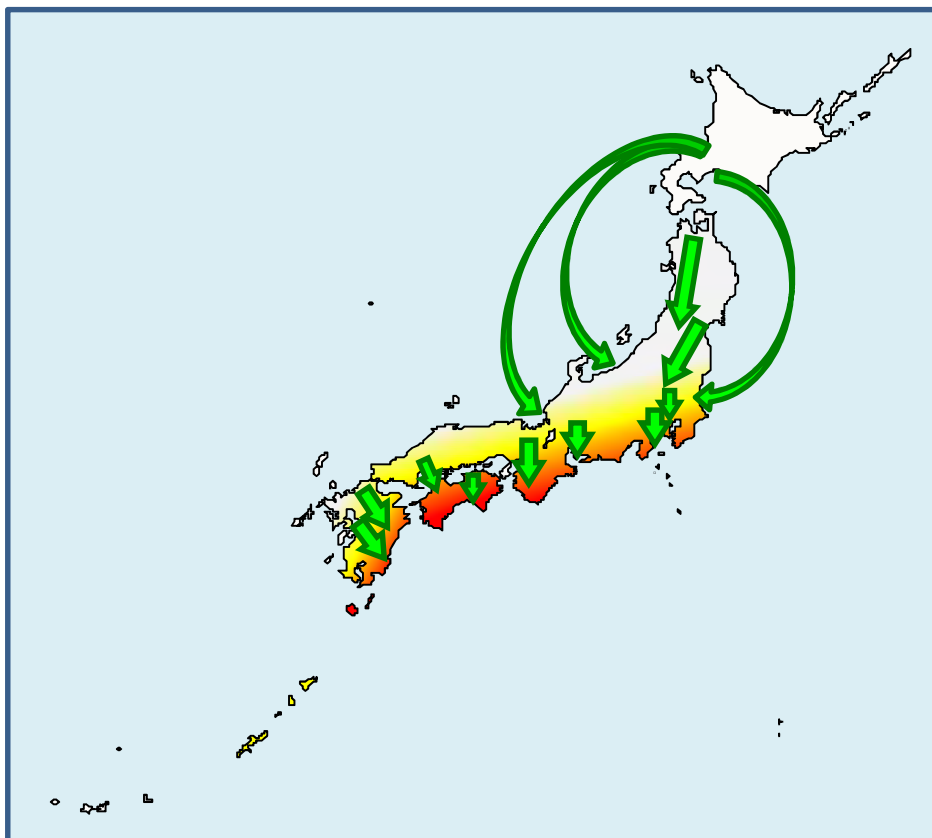


# 26中期防における主要な防衛力整備

## ～大規模災害等への対応～

- 南海トラフ巨大地震等各種災害に際し、十分な規模の部隊を迅速に展開する初動対応能力やローテーション態勢を整備



大規模災害時の災害派遣部隊の投入（イメージ）

→ 長期間にわたる対処態勢を持続

# 中期防衛力整備計画 経費の概要

(単位：億円)

	26中期防 (平成26年度～平成30年度) [平成25年度価格]	(参考) 23中期防経費
経費総額	<b>24兆6,700億円</b>	<b>23兆3,900億円</b> (上記金額とは別に調整枠1,000億円)

注) 26中期防経費総額は25年度防衛関係費をおおむね平均伸率1.8%増としたもの。  
上記24兆6,700億円のうち、調達改革等により、おおむね7,000億円程度の実質的な財源を確保する。

# 中期防衛力整備計画「別表」

区分	種類	整備規模
陸上自衛隊	機動戦闘車 装甲車 水陸両用車 テイルト・ローター機 輸送ヘリコプター(CH-47JA) 地对艦誘導弾 中距離地对空誘導弾 戦車 火砲(迫撃砲を除く。)	99両 24両 52両 17機 6機 9個中隊 5個中隊 44両 31両
海上自衛隊	護衛艦 (イージス・システム搭載護衛艦) 潜水艦 その他 自衛艦建造計 (トン数) 固定翼哨戒機(P-1) 哨戒ヘリコプター(SH-60K) 多用途ヘリコプター(艦載型)	5隻 (2隻) 5隻 5隻 15隻 (約5.2万トン) 23機 23機 9機
航空自衛隊	新早期警戒(管制)機 戦闘機(F-35A) 戦闘機(F-15)近代化改修 新空中給油・輸送機 輸送機(C-2) 地对空誘導弾ペトリオットの能力向上(PAC-3 MSE)	4機 28機 26機 3機 10機 2個群及び教育所要
共同の部隊	滞空型無人機	3機

注: 哨戒機能を有する艦載型無人機については、上記の哨戒ヘリコプター(SH-60K)の機数の範囲内で、追加的な整備を行い得るものとする。